

【会議結果】

会議名	令和5年度 第2回碧南市地域公共交通活性化協議会
日時	令和5年11月6日(月) 午後2時～3時30分
場所	碧南市役所 7階議員大会議室
出席者	碧南市地域公共交通活性化協議会委員14名(内代理出席 3名) 事務局4名、コンサルタント1名 (欠席:四日市大学 岩崎委員、(公社)愛知県バス協会 小林委員、レスクル美浜 営業所 天野委員、碧南警察署 角谷委員)
傍聴者	3名

議事

1 会長あいさつ

○金沢会長(碧南副市長)

お集まりいただきありがとうございます。

昨年度より協議を進めてきた碧南市地域公共交通計画について、本日は一通りの案をお示しして、パブリックコメントにかけるための案としたいと思う。

2 議題

(1) 第6章 碧南市地域公共交通計画について

○事務局

- ・資料1について説明

質疑応答

○小田委員(碧南市民生委員児童委員協議会代表)

老人福祉施設の方とお話する機会があり、その際に、送迎バスが昼間は空いているため、移動支援事業などに協力したいという話をお聞きしたため、前向きに検討してみてほしい。

○事務局

デイサービスの送迎以外にご協力いただくということであれば、無償事業なら問題ないと考えているが、持続性の観点から有償が望ましいように思う。

○潮田委員(愛知県タクシー協会刈谷碧南支部長)

碧南市では福祉有償運送が2事業者しかなく、利用者も少ない現状にある。

利用対象者は限られるが、福祉有償運送のシステムにのって申請すれば、法律的にも問題のないシステムとなると思う。

○事務局

事務局から相談させていただく。

○潮田委員(愛知県タクシー協会刈谷碧南支部長)

現況部分のページに目標値のページに掲載されている現況値(令和4年)が掲載されていない

ので分かりにくい。また、西暦と和暦が混ざっているのも分かりにくい。

また、説明のあった 24 ページについては 1 社の数値のみとするのか。

○事務局

5 章までは協議上の分かりやすさの観点から、前年度のものとしている。

西暦・和暦の統一は事務局で持ち帰り、修正させていただく。

目標値の部分に掲載している数値は最新のもので、タクシーは 2 社分としているが、現況部分 1 社分とする。

○鈴木委員(碧南市身体障害者福祉協会会長)

事業④で検討されているサービスは、迎車代を考えなくて良いか。

○事務局

今後の検討となるため、現時点では回答できない。

近隣事例では乗合や停留所乗降方式も多く、一般タクシーよりある程度の制約を課す分、運賃が安く設定されている。

碧南市においては障害者の方へのタクシー代助成もあり、そちらも活用していただきながら、どの程度のシステムが許容していただけるかについて検討していく。

○鳥居委員(市民公募)

くるくるバスを 1 時間に 1 本運行するようなことは無理か。

○事務局

くるくるバスの利用実態から、バスの便数を増加させることによって劇的に利用者数が増えるということが確認できていない。

また、バス・タクシーの運転手が不足しており、そうした課題も含め慎重に検討していきたいため、計画に 1 時間に 1 本という明文化をしていない。

○小田委員(碧南市民生委員児童委員協議会代表)

ライドシェアを国が進めようとしているように感じるが、碧南市の考え方を聞きたい。

○事務局

ライドシェアがあることを踏まえながら、プロのドライバーが運転する移動手段で、地域内交流交通の網の目を細かくする方法を考えていきたい。

事故の処理など、規制緩和が進んだところで課題が残ると考えており、プロのドライバーが運転する移動手段を優先的に考えていきたい。

○潮田委員(愛知県タクシー協会刈谷碧南支部長)

岸田首相が検討を始めると言っており、都道府県レベルでは神奈川県と大阪府が動いていることをつかんでいる。

通常のタクシーは二種免許をはじめ、万が一の事故の際の保険や、1 年に 1 回の車検、アルコールチェック、日常点検など、様々な安全・技術管理を行っている。

ライドシェアも色々あると思うが、普通の免許をお持ちの方がサービスを提供されることが多いと考えており、もう少し様々な議論を経たうえで、法整備されていくことが重要だと捉えている。

○金沢会長(碧南副市長)

議題(1)について、若干の修正があることを踏まえたうえで、ご承認いただける方の挙手をお願いしたい。

(全員挙手)

○金沢会長(碧南副市長)

挙手全員ということで承認された。

(2) 第7章 計画の達成状況の評価について

○事務局

・資料2について説明

質疑応答

(意見・質問なし)

○金沢会長(碧南副市長)

意見や質問がないため、承認とする。

3 その他

○名倉委員(愛知県都市・交通局交通対策課主事)

(MaaSの実証実験についてのパンフレットを説明)

○事務局

・今後の流れについて

12月15日(金)に議会の経済建設部会へ説明を行い、その後、12月18日(月)から翌年1月18日(木)までパブリックコメントを行う。

・次回開催予定 令和6年3月4日(月) 14:00～